

組 織 体 制

○現代G P地域連携ものづくり活動推進運営委員会

本校校長を責任者とし、運営方針など基本的事項を審議し、各年度計画を決定する。委員は、新居浜市から教育委員会学校教育課指導主幹、小学校理科教科会顧問、中学校理科教科会顧問・技術教科会顧問、企画部別子銅山文化遺産課長、他に、地域ものづくりコーディネーター、新居浜まちおこし委員会、マイントピアを楽しく育てる会、愛テクフォーラム、本校教員などとする。

新居浜工業高等専門学校現代G P地域連携ものづくり活動推進運営委員会規程 参照

○現代G P地域連携ものづくり活動実行委員会

本校ものづくり教育支援センター長を責任者とし、ものづくり教育研究フォーラムや成果発表交流会をはじめ本事業の企画、調整を行い、進捗を促進する。委員は、ものづくり教育支援センター長のほか、地域ものづくりコーディネーター、高度技術教育研究センター長、同教育連携担当副センター長、総務課長、学生課長等とする。なお、新居浜市小学校理科教科会、中学校理科教科会・技術教科会の会長に専門委員を委嘱する。なお、主要メンバーでの実行打合せによって進捗状況を管理する。

新居浜工業高等専門学校現代G P地域連携ものづくり活動実行委員会要項 参照

○現代G P地域連携ものづくり活動評価委員会

人材養成の教育効果等について評価し、次年度の活動計画に反映させる。評価委員会は、愛媛大学大学院理工学研究科教授、新居浜市教育長、新居浜商工会議所会頭、(財)東予産業創造センター専務理事の有識者で組織する。

新居浜工業高等専門学校現代G P地域連携ものづくり活動評価委員会規程 参照

○「地域ものづくりコーディネーター」を1名、「プロジェクトアソシエイト」を4名委嘱する。

・地域ものづくりコーディネーター

濱田 直 中学校長OB

・プロジェクトアソシエイト

山本 博 住友重機械工業(株)OB

平岡正敏 住友重機械工業(株)OB

曾根輝夫 ソネダインスゾ社社長

稲見和生 元新居浜高専教員(平成19年度から)

平成19年度 評価委員会

平成20年3月18日(火)に開催した。平成19年度の取組に関して、学生に対する教育効果及び地域の活性化への寄与等について評価を行った。

「学生に対する教育効果」については、イベントも含めると延べ300名の学生が参加しており、出前活動、成果発表交流会での発表等、学生参加が進展していることが評価された。次年度は、学生の教育効果の評価方法の検討を行うべきとの指摘がなされた。

「地域の活性化への寄与」については、「地域ものづくりコーディネーター」の活躍により、小中学校と新居浜高専の間で連携が進展して、「実のあるネットワーク作り」に近づきつつあると評価された。まちづくりの3プロジェクトについては地域へのサポートとして高く評価された。成果物について学生のプライドを実現・顕彰するような工夫が必要、製作過程での地域の参加が必要、との課題が出された。